

2022年合格目標 TAC公務員講座

政治学

講義ノート & V 問題集

第1回【政治学①】

体験入学用抜粋版

【ご案内】

当教材は、体験入学用の抜粋版で、**政治学の第1回講義（政治学①）**の該当範囲の内容を抜粋したものとなっております。

基本講義 政治学

講義ノート目次

基本講義 政治学 第1回	3
基本講義 政治学 第2回	27
基本講義 政治学 第3回	49
基本講義 政治学 第4回	75
基本講義 政治学 第5回	103
基本講義 政治学 第6回	135
基本講義 政治学 第7回	159

※各回の巻末にミニテストを掲載しています。

講義進度表

回	項目	講義内容
1	政治学概論	1. 政治学のガイダンス 2. 政治学の基礎概念 3. 国家とイデオロギー
2	政治制度論(1)	1. 議会 2. 国会の仕組み 3. 議院内閣制 4. 大統領制
3	政治制度論(2)	1. 各国政治制度 2. 選挙制度
4	政治過程論(1)	1. 政治体制論 2. 政党の発生と機能 3. 政党システム
5	政治過程論(2)	1. 利益集団 2. マスメディアと政治 3. 政治意識と政治文化 4. 投票行動の理論
6	政治思想・理論(1)	1. 古代・中世の政治思想 2. 近代の政治思想 3. 現代の政治思想
7	政治思想・理論(2)	1. 民主主義の思想 2. 現代政治学 3. 現代政治哲学 4. 国家と権力の理論
基本演習 政治学 出題範囲：第1回～7回 出題数：24問		

『講義進度表』は各講義回で触れる内容を示しております。

※当講義進度表は、TAC直営校及びTAC通信講座受講生のものになります。大学学内講座等ではカリキュラムが異なる場合がございますので予めご了承ください。

※「政治学」に関する、より発展的な内容にも取り組んでみたい受講生の方は、「発展講義：政治科目」の政治学分野も併せて学習してみましょう。

基本講義 政治学

第1回

基本講義 政治学 第1回

◇本日の予定

- 1 政治学のガイダンス
- 2 政治学の基礎概念：権力・支配の正当性など
- 3 国家とイデオロギー：自由主義・民主主義・社会主義など

1 政治学のガイダンス

1. 出題傾向及び学習の手順

最初の演習は正答率 50%以上の問題を中心にして、50%以下は後回し（50%以下のほとんどは国般か国税財務）。また、最初は演習形式ではなく、解説と合わせながら問題文を読むことを推奨する。いきなり問題に取り組むと挫折する確率が高い。

2. 講義ノートの内容について

①重要度のランク付け

講義ノートには、各論点について重要度に応じて、【A】から【C】までの記号を付してある。総じて言えば、【A】から【B】までが基本事項である。【C】レベルは、国般などでは出題があるが他の職種では出題可能性が低いなど復習の優先度が低いことを意味している。また、政治系応用で取り扱う場合には【政治系応用】と表記している。

②重要キーワード

特に覚えておきたいキーワードについては、空欄補充及び二重線（ ）を付している。空欄補充を見逃した場合には、各回の冒頭または最終ページを参照のこと。

③その他

政治系はとにかく見知らぬ外国人の名前が多数登場するため、慣れない者には暗記がやっかいである。暗記の一助になればと寒い駄洒落やコメントなどを付している場合もある（目印はこれ→（・3・）<主にツッコミ担当、（・バ・）<主にボケ担当）。元ネタが分からない場合などは担当講師にお気軽にお尋ね下さい。

3. 講義ノートの表記について

- ①関連事項がある場合には☞で指示。（例）☞7回は政治学第7回を参照の意。
- ②講義では詳述しないが、応用論点として役立つものは、**PowerUp**で表示。
- ③重要事項で、理解の核となる部分については**コア**で表示。

4. 講義ノートで用いている資料について

本講義ノートで用いられている肖像写真などは、特に明記していない限り、出典はパブリックドメイン、出典が明示されているのはクリエイティブ・コモンズでライセンスのあるものである。いずれも存在しない場合には QR コードで該当するインターネット上のサイトを案内しているので、各自で確認されたい。

↑
（・3・）<何が言いたいかというと、営利企業である TAC が提供する講義は、大学などと違って、著作権物を自由に使えない。したがって、本当は見せたい資料も直接はお見せできないという「大人の事情」はご理解下さいということである。

2 政治学の基礎概念

2.1 政治の概念

2.1.1 政治とは何か【C】

- (1) 政治の定義は学者の数だけある。例えば、以下が有名。
- ・政治とは「友と敵の区別」である（C.シュミット）[7回]
 - ・政治とは「階級闘争」である（K.マルクス）[7回・社会学]

(2) このように論者によって様々であるが、比較的よく用いられているのがD.イーストン（7回）の以下の定義である。すなわち、政治とは、

「社会に対する① _____ の② _____ 配分である」
（集団） （財、権利、安全等） （拘束力のある）

図表：経済学と政治学の比較



2.1.2 正当性と権力【C】

以上を言い換えれば、政治とは、「集団として意思決定し、負担や便益を配分し、集団の間に秩序を形成すること」である。このため、政治学の主な分析対象は、国家や政府となる。分析の際には以下の2つが問題となる。

- (1) **正当性（正統性）**：なぜ従う必要があるのか？
国家は、集団としての決定やルールに従うことは「正しい」ことだと人々に思わせることが必要である。
- (2) **権力（強制力）**：従わせる手段は？
国家は、決定やルールに違反し秩序を乱す者を従わせることのできる能力を必要とする。

☆過去問（国I-13）×

イーストンのモデルは、（中略）価値の権威的な配分を行うとしている。これは、政治が国民の意思に依拠し、国民が広く政治に参画する民主主義的政治体制を念頭に置いたものである。そのため、彼のモデルでは、専制や独裁制などを含めた政治を一般的にとらえることができない。

（・4・）＜イースト（ン）菌。配分次第でかぶれます。これガチ（価値）なお話。＞

（・3・）＜なぜ、強制する必要があるのか、そして従わない者がいた時にどのような手段で従わせるかを考えるのが政治学。自己中もたくさんいるが、「みんなのために仕方ない」「他人を助けるのも大事」と考える者もいるし、そう考えるように仕向ける仕組みを分析するのが政治。＞

（・3・）＜ただし、政治は国家だけに限定されるものではない。ジャイアンが「友だちだろ。お前のものは俺のもの。俺のものは俺のもの」として、のび太から借りたものを返さないとき、スネ夫が「悪いな、のび太。このゲームは3人用なんだ」とのび太をのけ者にする時、友だち（集団）の間で、まさに「価値の権威的配分」が行われているわけである。＞

（・3・）＜ガキ大将ジャイアンの「独裁」もまた価値の権威的配分である。＞

2.2 権力

■2.2.1 ウェーバーの権力論【C】

権力の古典的定義として著名なのが、社会学者 M.ウェーバーによるものであり、彼は権力を以下のように定義した。

「権力とは、ある社会関係の中において、抵抗を排除してでも、自己の意志を貫徹しうるすべての可能性を意味する」

(・3・)<広辞苑では権力は「他人を押さえつけ支配する力」。嫌がるのび太をジャイアンが押さえつけることが出来るとき権力が発生と言ってるだけ。



M.ウェーバー(1864-1920)はドイツの思想家・社会学者。ウェーバーとも表記。

■2.2.2 権力の実体概念と関係概念【B】

実体概念と関係概念の区分は、権力論の古典的な分類の1つである。かつては実体概念が支配的であったが、政治の科学的分析が重視されるようになると、関係概念が主流となった。

(・3・)<実体概念と関係概念の区別は、C.フリードリッヒによる。

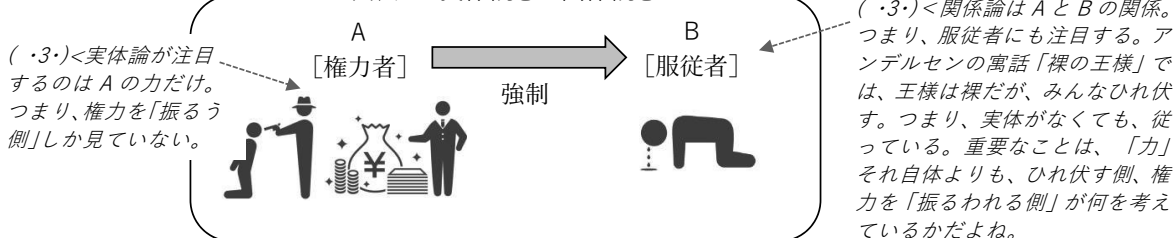
図表1：実体概念と関係概念の比較

	権力の实体概念 (実体的権力観)	権力の関係概念 (機能的権力観)
視点	権力の「③_____」に注目 ※具体的にどんな力を持っているか	権力の「④_____」に注目 ※どれだけの服従を確保できるかという実効(機能)に即して見ようとする考え方。
主な論者	○N.マキャヴェリ 権力の資源： <u>暴力(軍隊)の集中</u> ○K.マルクス 権力の資源： <u>富(生産手段)の所有</u> ○H.ラズウェル 権力の資源：富や知識などの <u>多様な価値</u>	○R.ダール <u>「Aの働きがなければBは行わないであろうことを、AがBに行わせる限りにおいて、AはBに対して権力を持つ」</u>

(・4・)<カネに汚いマルでクス=マルクス。

(・3・)<関係論は(原則)ダールだけ！

図表2：実体概念と関係概念



☆過去問(区-19)×

ラズウェルは、権力を実体概念とみる立場から、それを人間あるいは人間集団が保有する力としてとらえ、暴力の集中を権力の基礎とみなした。

■2.2.3 ラズウェルの権力論【B】

◇ 背景

政治学にフロイトの精神分析の手法を導入し、政治行動を心理的要因から分析することを重視した。C.メリアムなどと共にシカゴ学派を形成し、行動主義を政治学に取り入れることに貢献した【第7回】。

◇ 定義

権力とは「ある行為の型に違反すれば、⑤ _____ が期待されるような関係」である。

◇ 特徴

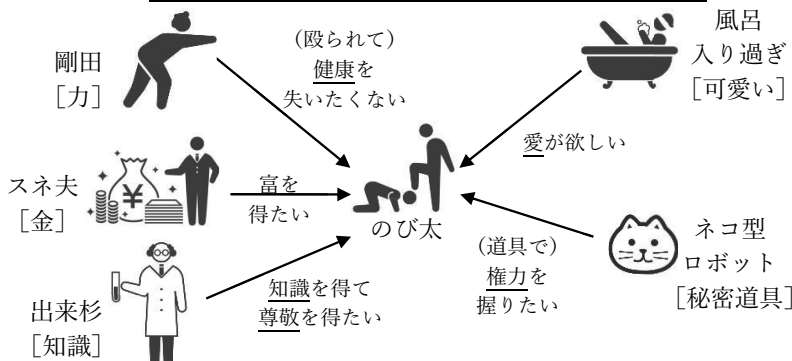
富や知識など多様な価値が権力手段となると考えた。ラズウェルの議論は様々な価値を実質的な権力行使の手段として位置づけているため、権力の実体概念に分類される。



† H.ラズウェル (1902-78)
はアメリカの政治学者。
ラズウェルとも表記。

(・V・)<負け知ラズのウ
ェルズ。ボール剥奪のう
まさは一見の価値あり。ラ
グビー世界ランク4位(我
ながら無理があるぜ)

図表：ドラえもんの世界で見るラズウェルの権力論



(・3・)<ラズウェルに
よれば、人間が追求する
価値は、権力、尊敬、道
徳、愛情、健康、富、技
能、知識の計8つ。これ
らが権力を振るう時の
ベースとなるので、「権
力基底」ともいう。

☆過去問 (国II-17) ×

H.ラズウェルは、警察や軍隊などによる物理的強制力こそが権力の資源だとする権力の実体的概念を否定し、権力は資本家と労働者の階級関係の中で発生するものだとする権力の関係概念を確立した。

(・3・)<資本家・労働者の
対立ときたら、マルクス。
これでは源静香の愛の権
力を説明できないぞ。

☆過去問 (国II-10) ×

(中略) 全体主義の心理学的分析を試みた H.D.ラズウェルは、国家権力を掌握したエリートが富、尊敬など様々な価値を大衆から剥奪する過程を描き出し、権力現象を専ら国家の社会に対する統制の強化という文脈で理解した。

(・3・)<ドラえもんの世界
でも説明出来るように、国
家やエリートだけが権力
を行使するわけではない。
日常生活でも権力は行使
されてるよな。

☆過去問 (区-19) ×

ラズウェルは、明確な関係概念に立って権力論を展開し、AとBとの間で「Aが命じなければならないであろうことをBにさせる程度において、AはBに対して権力を持つ」という形で定義し、権力の比較衡量を試みた。

(・3・)<AとBの関係とか
出てきた時点でダールの定
義。関係論はダールだけ！

■2.2.4 ダールの多元主義的権力【A】

(・ⅴ・)＜ダールくなるほど、よく出ーる。
その重要性は多言(多元)を要しない。

コア

(アメリカの民主)政治の本質は「単数形」ではなく「複数形」(多元的)。

☞第2回アメリカ政治、第4回のポリアーキーも確認。

◇ 権力の関係概念

① 定義

「Aの働きがなければBは行わないであろうことを、AがBに行わせる限りにおいて、AはBに対して権力を持つ」

② 特徴

権力者だけでなく、その服従者の反応にも注目した権力概念

◇ 多元主義的権力観

① 権力資源の多様性

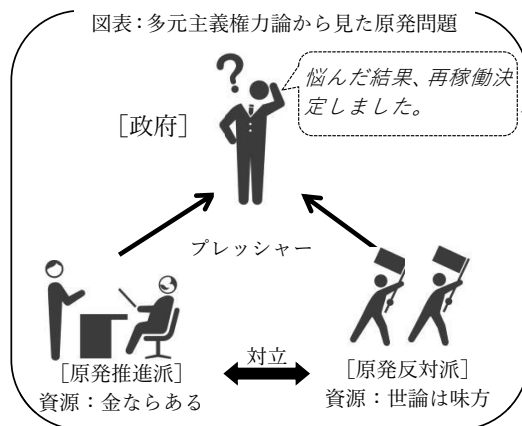
権力を行使するときに動員する手段(権力資源)は、人員、資金、権限、情報、専門的技能など多様である。そして、これらの権力資源は様々な個人や集団に多元的に存在している(一部のエリートだけが所有しているわけでない)。

② 観察可能な事象としての権力

権力の分析では、実際の行動を直接観察しなければならない。つまり、「Aの強制でBがある行動を取った」という事実があって、そこに権力が発生したと解される(権力論には「見えないもの」を扱う研究もある)。^[7回]

③ 権力は量的に把握可能で、権力の大きさは比較衡量できる

Aが「働きかけをした場合」と「しなかった場合」を比較するなどして、Aの持つ権力の大きさは計算できる。



(・3・)＜ダールは、権力は一握りのエリートに独占されているというS.ハンターのエリート論を批判し、様々な個人・集団に分散しているという多元主義を主張した。この論争を「地域権力構造論争」という。^[2.4.2]

(・3・)＜「悩ませた」ということは、反対派も一定の影響力を行使できたわけで、権力を有すると考えてよい。権力を0か100かで考えないわけだね。つまり、あなたにもささやかであるけれども「権力」はある！

PowerUp

実際にはダールは、Aがaに対して何もしないときに、aがある行為xをする確率と、Aがaにある働きかけwを行ったときに、aがxを行う確率の差として権力の大きさを測ることを提案している。例えば、A(大統領)が増税を全国放送で訴える／訴えない、によって、a(上院)が増税案に賛成投票をする可能性は高まるのかどうかという点から権力を測定・記述することが可能となる。

(・ⅴ・)＜確率とか面倒なことしやがってという感覚でも十分。ダールはこうした「計算」を多用する客観的な政治学の先駆でもあることがわかるよな。

2.3 権威と支配の正当性

■2.3.1 権力と権威【B】

◇ 特徴

- ・「権力」は、究極的には強制によって服従を確保する。
- ・「権威」は、無条件に（強制がなくとも）服従を確保する。

◇ 権力の権威化

権力は強制力の行使という形である程度のコストがかかるが、権威はコストが低い。したがって、権力は、自らを権威化（支配を正当化）することで、支配の効率性を高めようとする。

Power UP サイモンによる権威の定義

H.サイモンは、権威を「他人からの通信を、その内容を自身で検討せずに、しかし進んで受容する現象」と定義している。（※サイモンは行政学2回で学習する重要人物）

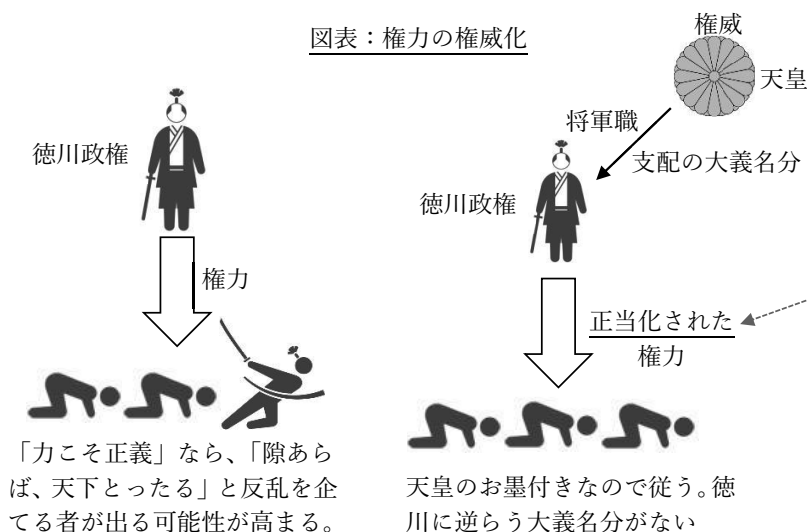
（・ⅴ・）<中身を自分で吟味することなく、「宮内庁御用達」と銘打っているだけで、つい買ってしまうのもこれと同じだね。

☆過去問（国Ⅱ-15）×

H.A.サイモンは、権力と権威を分けて考え、権力は、例えば他人からのメッセージを、その内容を自身で検討した後に、進んで受容するときにみられるものであるとした。彼によれば、権威が強制により服従を確保するのに対し、権力は強制がなくとも服従を確保するものであるといえる。

（・3・）<正直、ただの国語の問題。サイモンなんて知らなくても判断出来る。むやみに覚えればよいというものではないぞ。

図表：権力の権威化



（・3・）<上級者向け。では、こうした「正当化された権力」に歯向かうためには何が必要か？「俺たちの方が正しい」という大義名分だよ。「徳川は天皇の意向を無視してる！俺たちこそ天皇の側だ！」（明治維新）、「現王朝は天を裏切っている。俺達こそ、天帝の徳を実現するものだ！」（中国の易姓革命）。

■2.3.2 ウェーバーの支配の正当性の3類型【A】

◇「支配の正当性」の定義

支配の正当性とは、権力者の発した命令が被治者によって無条件に（自発的に）受け入れられる根拠が何かを示すものである。ウェーバーはこれを以下の表のように3つに類型化した。

(・3・)<自発性がポイントね。しぶしぶだろうが、なんだろうが、自ら受け入れることが重要。

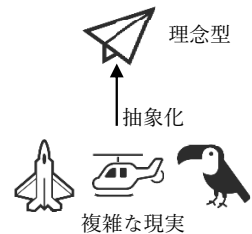
◇三類型の特徴

①三類型は「⑥」である。

理念型とは、重要な部分を抽象・強調して、不要な部分を省略したものである。つまり、現実そのままではない。したがって、現実には各支配の類型は混合した形で現れる。

(・3・)<理念型とは、要はモデル（模型）だと考えればよい。例えば、飛行機がなぜ飛ぶのか説明する時に、そのままだと複雑過ぎて分かりにくい。そこで紙飛行機（モデル）を用いて飛行のメカニズムを説明する。
(・4・)<漫画やアニメで「キャラ」を立てて、ストーリーを分かりやすくするみたいなものだ。 「そんなやつ現実にはいない」ということよくあるだろ。

図表1：理念型のイメージ



②支配の内容が正しいかどうか問題とならない。

被支配者（服従者）の「支持」それ自体に力点があり、その質は問われていない。したがって、制度化された手続に従う限り独裁者の命令でも合法的正当性の範疇に含まれる。

(・3・)<つまり、合法的支配=民主主義とは限らないわけ。ナチスもまたある意味では合法的支配であるというのがポイント。

PowerUp カリスマが血や地位によって受け継がれる場合

カリスマには、さらに世襲カリスマ、官職カリスマというものがある。世襲カリスマとは、例えばナポレオン三世のように自身は凡庸ではあったが、叔父（ナポレオン一世）が偉大であったためにカリスマを持つケース。官職カリスマとは、ローマ教皇のように、本人の能力というよりはローマ教皇という地位によってカリスマ性を持つ場合をいう。

(・4・)<「芸能人二世」とかもこれで説明できるよな。だいたい誰々の息子ってだけで、騒がれる歌舞伎ってどうなん…（それ以上はいけない）

図表2：支配の正当性の三類型

類型	⑦ 正当性	⑧ 正当性	⑨ 正当性
要点	「伝統」で決まっているから 支配者は身分で決まり、決定は先例に則って行われる。	支配者が「優れている」から 伝統社会の停滞を打破。支配者個人への信仰で成り立つ	「ルール」に則っているから 明示的かつ予測可能な一般的ルール
特徴	古代から封建社会に至る時期の農耕社会で一般的	・ どの時代にも見られる ・ 非日常的であるため不安定	現代社会で最もよく用いられる正当性の根拠
事例	家父長的支配	預言者、革命家、軍事的英雄	官僚制的支配



(・3・)<よく分からんが、昔からこいつが王様という伝統なので従う。
(・4・)<天照大神（太陽の女神！）の末裔だから、「疑問を持つな。ただ祈れ」というのも同じ理屈だね。



(・4・)<英雄（ヒーロー）だから、従う。ただし、英雄なんて滅多にいないから、不安定でもあるということ。



(・4・)<ルール上は、上司ということになっているから従う。上司にカリスマ性があるかどうかなど関係ない。

☆過去問 (税-16) ×

M.ウェーバーは、権力の正当性の根拠を三つの類型に分類し、権力の正当性の根拠は、文明社会の発達に伴って、「カリスマ的支配」から「伝統的支配」を経て、「合法的支配」へと三つの段階を経て移行していくと主張した。

(・3・)<類型だから、順番は関係ないぞ。類型論はこの手の引っ掛けに注意。

☆過去問 (区-16) ×

合法的正当性では、実質的正当性が要されるので、法律としての体裁さえ整えば国家は何をしても自由だとする法律万能主義に陥る危険性はない。

(・3・)<ヒトラーは全権委任法というルールに従って統治。悪法もまた法である。

(・3・)<ところで、この文章をあらためて見てくれ。こいつをどう思う？ここまで丁寧に説明しておきながら、「・・・という危険性はない」とか最後ではしごを外すような説明。「押すなよ。絶対押すなよ」形式の問題である。政治系ではよくあるタイプだな。



©Wolfram Huke

J.ハーバーマス (1929-) は、ドイツの社会哲学者。社会学でも学習。

■2.3.3 ハーバーマスの正統性論【C】【政治系応用】

◇ ウェーバー批判

ドイツの社会学者 J.ハーバーマスは、ウェーバーの言う合法的正統性は、法の形式的な合理性のみを問題としたもので、法の内容上の正しさを問題としていないと批判した (悪法でも正当化されるから)。

◇ 「理性的なコミュニケーション」による正統化の原理

そこで、合法的正統性のかわりに、「理性的なコミュニケーション」を通して形成された合意だけが、普遍的に適用可能な法規範を基礎付ける支配の正統性たりうるとした。

(・3・)<とにかくコミュニケーション (討議) を重視する、性格のいいおじいちゃんだと思っておけば、だいたい合ってる。

☆過去問 (国 I-17) ○

M.ウェーバーの支配の正統性は、支配の内容についての価値判断よりも、むしろ支配に服する側がその支配を正統であると信じているという部分に着目して分類されたものである。これに対し、J.ハーバーマスは、合理的討議という概念を用い、理性的なコミュニケーションを通して形成された合意が支配の正統性となるという規範的内容を加えた正統性論を展開した。

☆過去問 (国 II-26) ×

J.ハーバーマスは、自由で理性的なコミュニケーションを可能とする「理想的発話状況」の達成が現実には不可能であることから、こうしたコミュニケーションを必要とせずに政治的な正統性の調達を可能とするような、自己完結的な法的システム構築の重要性を訴えた。

(・3・)<後半部は社会学第3回で学習するルーマンの議論 (ハーバーマスの論争相手)

Power UP 正当性と正統性

「正当性」については「正統性」と表記するテキストもある。毎年どちらが正しいのかと疑問を持つ受講生がいるので予め明示しておく。結論から言えば公務員試験的には「どちらでも良い」。

まず、一般論で言えば、国語辞書等では、正統は「正しい系統や血筋」、正当は「道理に当たっていること」(大辞林)と区別される。しかし、専門用語として用いる場合には意味が異なる。法学や哲学では基本的に、正当性 (justness) は「道義的倫理的正しさを説く価値判断」(結果の正しさ)、正統性 (legitimacy) は「正当性に関する判断が正しい根拠に基づいているかの基準」(手続きの妥当性)と区別される。例えば、「ナチス政権は、正統性はあるが、正当性はない」というように区別して用いることが出来る。ただし、政治学はそのあたりの区別が学者次第の所が多く、「正統 (当) 性」などという表記もあり、出題時も一定していない。つまり、筆記試験においても、どちらを使用しても構わない。

(・3・)<法学の世界ではしっかり使い分けないと「ド素人」と怒られるが、政治学 (特に公務員試験) ではスルーでおk。

■2.3.4 メリアムのミランダとクレデンダ【B】

コア

心理学（情緒や感情を分析）を用いて、ナチズムの熱狂を分析。

◇ 背景

1932年ヒトラー政権誕生前夜のドイツを訪問した経験から『政治権力』（1934）を著し、政治学を社会学、心理学と結び付ける試みを通じて「政治学の科学化」を提唱した（~~13~~7回）。

◇ 権力の定義

権力とは集団の統合現象であり、集団形成の必要性から生まれるものであるとし、この権力を心理的に補強する手段には、ミランダとクレデンダがあるとした。



C.E.メリアム（1874-1953）はアメリカの政治学者。第一次大戦中は政府広報機関に従軍。プロパガンダや世論操作などを研究。

(・V・)<メリー（アム）さんの羊、可愛いね♪
(・M・)!<ミランダ・カーの歌だったのか！（空耳）

	⑩	⑪
概要	政治的象徴形式によって集団への一体化をうながすもの（権力への一体化）	統治への尊敬、服従、自己犠牲に結びつくような理論（権力の合理化）
特徴	情緒や感情に働きかける <u>非合理的</u> な側面	知性に訴えかける <u>合理的</u> な側面
事例	記念日、記念碑、旗、音楽、行進、儀式等	イデオロギー（もっともらしい理屈）

図表：ナチスの党大会の様子



（出典）ドイツ公文書館 <http://goo.gl/MXtcLK>

(・V・)<ミランダの由来は女性の名前。ピンとこない人はミランダ・カーでggr.男が女に惹かれるのは理屈じゃないだろ？

(・3・)<左の写真は1934年ドイツ・ナチス党のニュルンベルク党大会の様子。ナチスお抱え建築家アルベルト・シュレーパーによって設計されたもので、130台ものサーチライトが夜空に向けて投光されている。「光の大聖堂（カテドラル）」とも呼ばれるナチス芸術の傑作の一つ。このようにナチスは大衆を盛り上げるイベントに長けていた。

(・V・)<政治家がオリンピック招致に躍起になり、クール・ジャパンとかよく考えると内実不明なキャッチコピーで盛り上げようとするのと何が違う…（大人の事情で割愛）

☆過去問（都-14）×

彼（メリアム）は、権力のミランダを、物理的強制手段によって政治権力を正当化するものであるとし、その形態として、記念碑、旗などのシンボルや儀式、デモが挙げられるとした。

(・V・)<記念碑、旗（物理）。記念碑で殴ってということきかせるってすごいなー。
(・V・)ナイナイ

☆過去問（税-17）×

ウェーバーのいう支配の正統性は、政治的象徴形式により集団への一体化を促すものである。C.メリアムのいうミランダに分類できる。

(・V・)<支配の正統性は、なぜ受け入れるかの「理屈」の話だから、クレデンダ。ミランダは、ライブで雰囲気飲まれて、ついみんなと同じように拳を突き上げてしまう行為。理屈じゃない。

3 国家とイデオロギー

3.1 国家とは何か【C】

◇ ウェーバーの定義

M.ウェーバーによれば、近代国家とは「国境で仕切られたある一定の地理的領域内で、物理的強制力の行使を独占する組織」である。この定義では、国家の存立に不可欠な3つの構成要素が示されている。

◇ 国家の構成要素

①主権を有する領土を持つこと（領域性）

自ら支配し、法律を適用し、税金を徴収できる場所が必要である。

②軍勢力や警察力などを独占していること（物理的強制力の独占）

国家の意志に従わない者がいた時に強制できる実力が必要である。

③国家の定めたルールに自発的に服従すること（正当性）

国家の権力行使が妥当であると人々に認識され、自発的な服従を得る権威が存在していることが必要である。

(・Ⅴ・)＜したがって、イスラム過激派組織のイスラム国(IS)もウェーバーの定義上は国家と言える。イラク及びシリアの一部を軍事力によって実効支配し、学校などを運営。イスラム法によってその支配を正当化している。逆に、シリアやイラクは国家としての機能を十分に果たせていない。このように統治に失敗している国家を破綻国家(失敗国家)という。

(・Ⅴ・)＜古代ギリシアのアテナイは最盛期で、神奈川県を上回る領域に成年男性市民およそ4万人が居住、民会は年40回ほど開催。一度に数千人が集まったといわれる。通常は挙手で採決した。

3.2 国家の変遷

■ 3.2.1 古代ギリシャのポリス（都市国家）【A】

◇ 政治体制：⑫ _____（ペリクレス時代のアテナイ）

①民会：20歳以上の成人男性「市民」が出席、一人一票制。

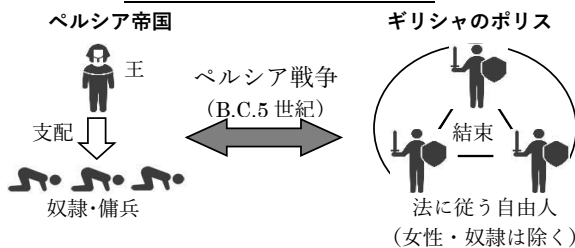
②行政（実務担当者）：抽選で選出する（500人）。(・Ⅴ・)＜学級会やPTAの委員決めみたいなもの。両者とも戦後に導入された「民主主義の演習場」。

◇ 特徴

血縁などによって結びついた「自然的共同体」ゆえに領域的な限界があり、大規模な政治社会を構成することができない。

(・3・)＜例えばアテナイの市民権法(BC451)では、両親がアテナイ市民でないと市民権は所有不可とする「血統主義」。つまり「平等」だが、よそ者は排除なわけ。

図表1：ペルシアとギリシャ



(・3・)＜国家のために命懸けで戦う兵士だけが市民に値する。「兄弟愛」の「血」の結束。

(・Ⅴ・)＜だから、ギリシャ彫刻は男の裸体ばかりで、古代オリンピックは男が裸で競い合うという場だったわけ。

図表2：ポリスの町並み

(・Ⅴ・)＜これゆえ「丘の上の民主政」とも言われるぞ。大学のキャンパスで講堂や広場に集まってみんなでワイワイガヤガヤ決めるイメージぐらいでちょうどよい。

■3.2.2 ヨーロッパ中世と近代主権国家【B】

◇ ヨーロッパ中世

中世（封建社会）は、封建領主、国王、皇帝、司教、都市国家など多様な主体が入り乱れた多元的な世界であった。ただし、権威あるローマ・カトリック教会の下で普遍的な秩序が存在した。

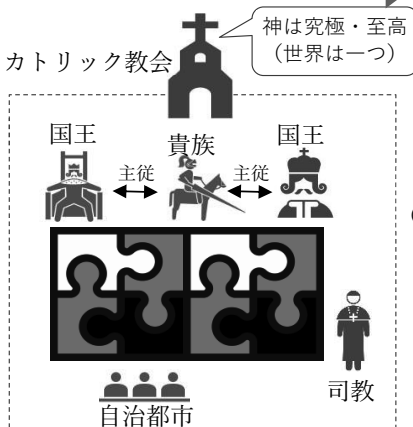
◇ 絶対王政と近代主権国家の誕生

- ①しかし、宗教改革によりカトリック教会の権威が失墜すると、国王の権力が強化され、次第に国王を中心として国内を一元的に統治する体制が確立した。これが絶対王政（絶対主義国家）である。絶対王政では官僚制（分業化した専門の行政官）と常備軍（職業軍人による常設の軍隊）が整備され、その権力は王権神授説によって正当化された。[⇒官僚制は行政学]
- ②絶対王政は、領域、主権、国民（国家の三要素）を有している点で、現代国家と同様であり、近代主権国家の起源でもある。

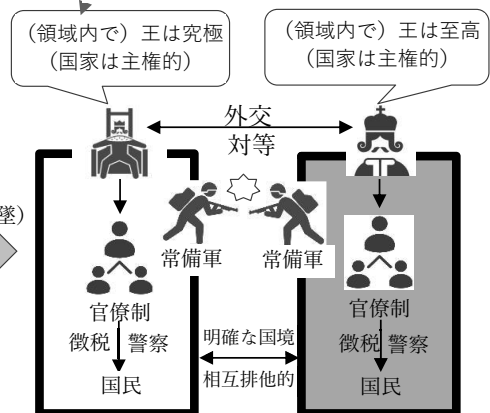
▶Power Up：近代主権国家と国際社会

近代主権国家の誕生とは、全体として見ると相互に独立した国家が対等な関係で外交・通商を行う世界が誕生したことを意味し、これを主権国家システム（体系）と呼ぶ。したがって、外交や通商には国際的なルール（国際法）が必要となる。つまり、主権国家の誕生とは、「国際法」によって広く結びついた「国際社会」を生み出すことにもなった。[⇒国際関係]

(・3・)<キリスト教という普遍的権威の下で、戦争があっても教会が「調停者」となることが可能。ただし、異教徒は別な。



(・4・)<普遍的権威なき時代の「究極」VS「至高」の対決！対決にはルール（国際法）が必要というわけ。



(・4・)<庶民にとって王は言葉も異なる、顔も知らない「外国人」。貴族は主従関係を掛け持ちし、二股、三股は当たり前。領地は飛び地ばかりのジグソーパズル。現代人から見ると複雑怪奇なカオスの世界。

(・3・)<主権とはそもそも「最高の」という意味で、自らの上に上位の存在は認めないということ。したがって、暴力（警察、軍隊）と徴税を独占し、領域内での宗教さえ決定できる「至高」の存在が主権国家。

(・3・)<上級者向け。現代の国際社会は、相互依存が進展し、NGO、国際機関、地域共同体など多様な非国家的主体が入り交じる主権国家が相対化されたカオスな状態であるため、「新しい中世」だと呼ばれることもある。[⇒国際関係]

(・3・)<上級者向け。このような主権国家が世界に拡大していくのが「近代世界システム」。日本の明治維新もこうした主権国家化の典型である。これに失敗すると国家も運営できない「野蛮」として西欧列強の植民地となってしまう。[⇒国際関係]

■3.2.3 近代市民革命【B】

◇ 絶対王政

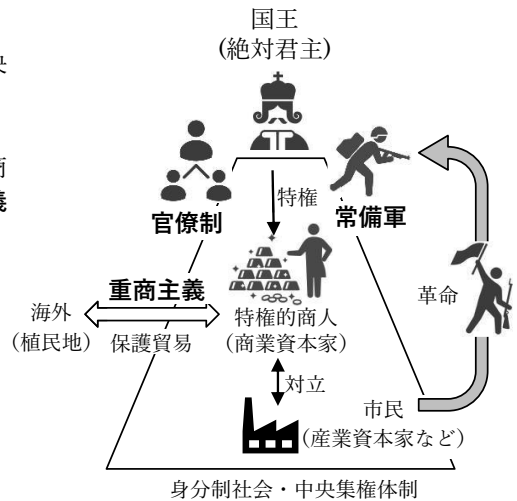
①絶対王政では国家の政治的・経済的統一が進展し、中央集権体制が確立することで、中世(封建社会)は崩壊した。しかし身分制や特権的商人などは残存した。

②特に特権的商人(商業資本家:貿易・流通で財をなす商人)は、国王から貿易の独占権などを与えられ、**重商主義**(保護貿易で国富を増大)の下で利益を享受した。

◇ 市民の台頭と近代市民革命

①一方、資本主義経済が発達し、産業革命などを背景に成長した産業資本家(工場経営者などの実業家)を中心とする「市民」(**教養と財産のある市民:ブルジョア**)が台頭すると、既存の特権身分(王、貴族、聖職者など)と対立するようになった。

②例えば、フランスでは、特権身分と市民及び生活苦にあえぐ下層市民・貧農らとの対立が激化し、絶対王政は革命によって打倒され、市民が政治の担い手となった。このような市民革命の理論的根拠となったのが、**近代自然法思想**や**社会契約論**である。[政治学第6回]



(・3・)<上級者向け。常備軍の維持には金が必要(富国強兵!)。フランスは軍費を賄いきれず革命。英国は効率的な徴税と中央銀行の国債引受で軍費を確保。財政=軍事こそが国家の基本。これが大英帝国の強さの源泉。

■3.2.4 近代国家から現代国家へ【A】

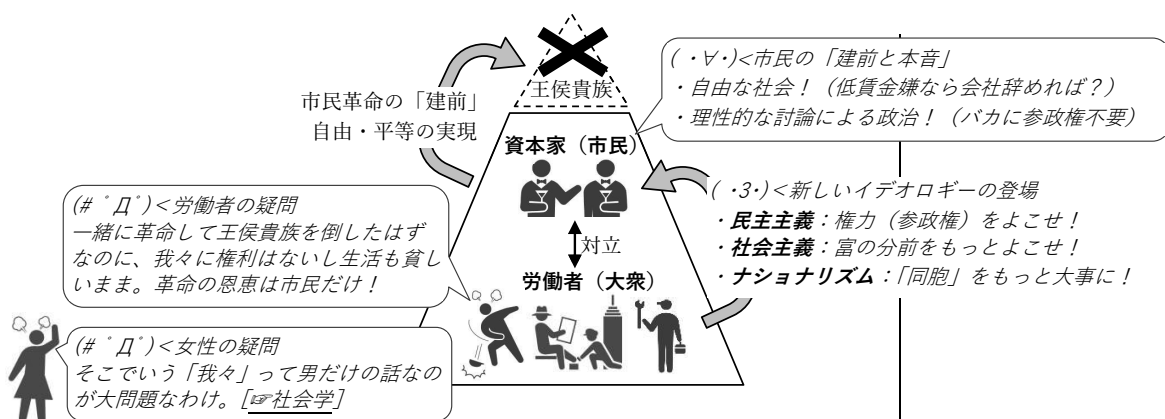
	近代国家 (19 世紀)	<背景>	現代国家 (20 世紀)
社会	市民社会 市民が政治の担い手	普通選挙	大衆社会 大衆が政治の担い手
経済	自由放任主義 市場メカニズムに委ねる	世界恐慌 (市場の失敗)	ケインズ主義 市場メカニズムに介入
政府	小さな政府 政府の役割は最低限の「 安価な政府 」(チープガバメント)	世界大戦	大きな政府 経済政策や社会保障などに積極的に取り組む(予算や公務員の増大)
権力の中心	立法府優位の「 立法国家 」	行政の高度化	行政府優位の「 行政国家 」
国家の実態	夜警国家・消極国家 (自由権の保障に限定)	産業化・都市化	福祉国家・積極国家 (生存権の保障も重視)

☆過去問(税労-19)×

アダム=スミスは、神の「見えざる手」によって統治権が国王に委任されているとする、王権神授説を唱えた。この理論に目をとめたヘンリ 8 世によって英国に招かれると、英国の経済制度をモデルとして『国富論(諸国民の富)』を著した。

☆過去問(特別区-R1 教養)×

モンテスキューは「諸国民の富」の中で、国家は国民が自由に活動するための条件を整備すればよく、国家の任務は国防や治安の維持など、必要最小限のものに限るという自由放任主義の国家を夜警国家と呼んで批判した。



■3.2.5 近代国家と現代国家の比較【A】

◇ 社会の変化

近代国家では「市民」が政治の担い手となり、大衆に参政権は認められなかった（制限選挙）。しかし、19世紀以降次第に普通選挙制度が導入され、議会制民主主義が定着することで現代国家では大衆が政治の担い手となった。

(・3・)＜「義務はあるが権利はない」では、兵士は真面目に戦わない。強い兵士の育成には教育も福祉も必要なわけ。

(・＼・)＜貧乏人は納税額少なくて国家に貢献していないし、知識も乏しくて「自己決定」できないから参政権は不要だね？

市民社会
制限選挙



大衆社会
普通選挙



(#・＼)＜兵役で国家に貢献しているのに権利はない！貧乏ゆえの知識不足を嘆くなら教育や福祉を国家が提供しろ！

◇ 経済の変化

①近代国家では、市民は自由な経済活動のために市場に対する介入を極力さけることを要望し、自由放任主義（レッセフェール）が基本となった。この理論的な根拠となったのが、18世紀の英の経済学者アダム・スミスである。市場の自動調節機能（神の「見えざる手」）が働くため、政府が手を加えることなく財の適切な配分が市場を通じて達成され、社会全体の福祉が増大するとした。

(・3・)＜上級者向け。ただし、スミスはすべて市場任せとは言っていない。商業活動に資する「公共事業」の必要性も説いているぞ。

②しかし、20世紀になると世界恐慌の発生など従来の経済学では対処できない問題が生じたため（市場の失敗）、金融・財政政策によって景気変動を調節する必要性が生じた。その理論的根拠となったのがケインズ経済学である。[経済学・財政学・経済事情]



A.スミス（英）
[1723－1790]

「自分の利益だけを追求することで
しばしば社会全体にとっての利益
が実現する」『国富論』1776年

(・3・)＜意識すると「自己中のクズ
しかなくても、世界は極楽状態になる」
という資本家にとっては都合の良い理屈にも
転化。

従来の経済学は景気が良い時だけの
「特殊」な条件だけを想定。失業や不況も
含めたより「一般」的な理論が必要。『雇用、
利子及び貨幣の一般理論』1936年

(・3・)＜意識すると「無駄な公共事業でも
雇用が生まれ、消費者に金が回り景気が回復」
という「財政赤字？だから何？」理論にも。



J.M.ケインズ（英）
(1883－1946)

◇ 政府・国家の変化

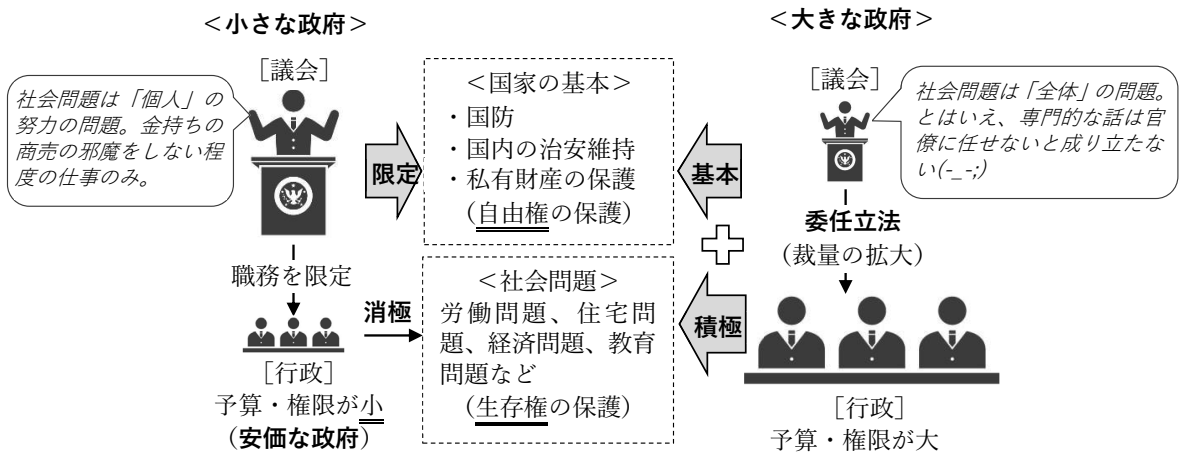
①近代国家では自由放任主義が基本とされたため、政府の役割は国防・警察・裁判などの最低限で良いとする「小さな政府」が志向された（財政規模が少なく済むという意味で**安価な政府**（チープ・ガバメント）ともいう）。国家権力の中心は立法府（議会）にあると考えられたことから、**立法国家**とも呼ばれる。しかし、「安価な政府」では、様々な社会問題（労働問題・都市問題）に対処できないため、**夜警国家**（独の社会主義者・F.ラッサール）とも揶揄された。

②その後、各国では都市化や産業化が進み、そして世界大戦などを経験する中で、国家の役割は次第に拡大していった。特に国家が総力を挙げて戦う（総力戦）ためには、国民の協力が必要であり、戦時経済のためには労働組合や社会主義政党の協力も不可欠であるため、国民の要望に応え参政権を拡大し、福祉制度の充実などを進めた。こうして、福祉を国家の責務として行う**福祉国家**が誕生した。[政治学・行政学・社会政策]

③このように現代国家はその範囲や役割を拡大させ、法律の中身を行政に委ねる**委任立法**の増大など立法府に対する行政府の優位を生み出したことから**行政国家**と呼ばれ、その規模が巨大化したことから**大きな政府**ともいう。

(・V・)<ラッサール石井＝
両津勘吉→警察！(こち亀)
(・3・)<夜警って、夜だけの
見張り＝昼間の大事な時間
はサボっている(福祉や経済
は無視)というイメージね。

(・3・)<福祉国家の基本
は、①社会権を保障、②所
得の再分配(累進課税な
ど)、③景気変動調節のた
めの市場介入の3つ。



☆過去問（裁判所II・23教養）×

20世紀に入ると、失業や貧困等の様々な社会的問題を解決する「大きな政府」への期待が高まり、多くの先進国では、公共事業により雇用を創出し、国内需要を喚起するケインズ型の経済政策が採り入れられるようになった。所得の再分配を目的とした逆進課税制度も、「大きな政府」に特徴的な税制である。

▶Power Up：戦争・福祉・民主主義

- ①「戦争が民主主義と福祉を生み出す」と理解しておく、でたいの重要事項がまとめて整理できる。
- ②まず、参政権については、例えばイギリスの場合、男子普通選挙は 1918 年、女子普通選挙 1928 年に実現した。アメリカでは男子は 1870 年、女子は 1920 年である。世界大戦では女性が軍需産業などで重要な労働力となり、傷病兵の看護なども行い、国家の一員としての発言力が高まったことが大きな要因である。ドイツもワイマル憲法によって女性参政権が認められるようになった。
- ③そして、福祉については、第一次世界大戦後のドイツのワイマル憲法（1919）において世界初めて憲法で社会権が規定された。また、第二次世界中のイギリスでは、ベヴァリッジ報告（1942）において、ナショナルミニマム（国民に保障する最低限の生活水準）という原則が示され、「ゆりかごから墓場まで」という福祉の体系的なプログラムが提案された。これは、その後多くの国々の福祉政策の指針ともなった。
- ④また、第二次世界大戦後の冷戦（東西対立）は、共産主義諸国に対抗する必要から西側諸国が福祉を拡充する動機を与えることになった。

← (・3・) <日本でも保健・医療政策が充実したのは国家総動員体制が敷かれてから。母子保護法（1937）、国民健康保険法（1938）、厚生年金法（1944）などが制定された。

■3.2.6 福祉国家の再編と新自由主義【A】

- ① 第二次世界大戦後の先進国は福祉国家化を進めた。しかし、福祉国家化に伴い予算や公務員が増大するため、財政上の負担も大きくなった。また、政府が社会や経済の様々な場面でその活動で増大させることがかえって民間企業の活動の障害となっているという認識も生まれた。これを「**政府の失敗**」という。
- ② 特に 1970 年代の**石油危機**以降、財政赤字を縮小し、再び市場メカニズムの意義を積極的に評価し、政府の規模を見直すことを求める**新自由主義**（ネオリベラリズム）が登場した。📖行政学



■3.2.7 エスピン＝アンデルセンによる福祉国家の3つの類型【B】

◇概要

デンマーク出身の政治学者 G.エスピン＝アンデルセンは、現代の福祉国家の多様性に注目し、①脱商品化指標、②階層化指標、③脱家族指標の3つの基準に基づいて、福祉国家を3つに類型化している（注：もともとは①と②の2つの指標で発表し、後に3番目の脱家族指標を追加している。したがって①と②のみに言及した問題文でも妥当な説明となる）。

◇留意事項

ただし、以下の3つの類型はあくまで理念型であり、これらに含まれない国もある。例えばイギリスは「社会民主主義」と「自由主義」の混合型であり、日本は「保守主義」と「自由主義」の混合型であると指摘している。

図表1：3つの分析指標

① 脱商品化指標	社会政策の受給資格の寛容度。具体的には市場に依拠することなく生活を維持できる程度（労働力の商品化の程度）を示す。
② 階層化指標	福祉受給の階層格差の高低。具体的には職業や地位の違いによって社会保険の受給水準が異なる程度を示す。
③ 脱家族化指標	人々が家族から独立して経済的資源を活用できる程度。具体的には福祉において家族に依存する程度を示す。

図表2：福祉国家の3つの類型

	社会民主主義型	自由主義型	保守主義型
脱商品化	高	低	やや高
階層化	低	高	高
脱家族化	高	中	低
重要な社会セクター	政府	市場	家族
代表例とその特徴	スウェーデン	アメリカ	ドイツ
	①脱商品化が「高い」：失業などに対する各種所得保障が充実している	①脱商品化が「低い」：失業などに対する各種所得保障が限定的である。	①脱商品化が「やや高い」：失業などに対する各種所得保障が充実している。
	②脱家族化が「高い」：女性の場合、介護や育児サービスを利用して自前の収入を獲得できる。	②脱家族化が「中程度」：女性の就業は奨励されるが、介護や育児支援は市場原理の下で供給される。	②脱家族化が「低い」：伝統的家族を重視するため、所得保障も男性稼得者を中心に行われる。
	③階層化が「低い」：どの社会階層も単一の普遍的な社会保険制度に編入するなど普遍主義的である。	③階層化が「高い」：社会保障受給者と非受給者との間で階層の二重構造が存在する。	③階層化が「高い」：職業別・地位別に社会保険制度が分立し、階層間格差がある。

(・V・)＜福祉大国スウェーデン！消費税は25%だけだね。

(・V・)＜育児介護休暇制度なんて不要だね！というのがアメリカ。

(・V・)＜例えばドイツの幹部公務員は年金（恩給）で非常に優遇されており、再就職は不要だそう。

☆過去問（国Ⅱ・20）×

G.エスピン＝アンデルセンは、GNPの多寡と歴史的に福祉政策の推進に前向きであったか否か（歴史的経路依存性の有無）という二つの指標を使い、国家を4つに分類した。そして、GNPの水準が高く、歴史的に福祉政策に積極的であった（歴史的経路依存性がある）英国型の国家において、最も福祉国家化が進むとした。

3.3 イデオロギー

■3.3.1 イデオロギーの定義【C】

イデオロギー (ideology) とは「**観念形態**」、「**信念体系**」などと訳されるが、政治的・社会的意見や思想傾向という意味でも用いられる。定訳が不在で多義的な概念でもある [社会学]。

■3.3.2 自由主義【C】

◇ 背景

「自由主義」という概念は 19 世紀初頭に完成した。この時代の自由主義は、現代のものと比較するために、**古典的自由主義**と称される。

◇ 古典的自由主義の要素

「政治的自由」（権力からの自由）を追求とする立場。

古典的自由主義の 3 つの柱

①信仰・思想・良心の自由	②生命と私的所有の保障	③権力の分立
16～17C の宗教戦争から、個人の信仰を尊重し合う「宗教的寛容」が生まれ、これが、政治的・道徳的主張などの思想の自由、出版の自由などに拡大した。	ロックの所有権論などによって正当化。ロックは、労働によって自然物に価値を与える行為は尊いとする労働価値説を唱え、財産の所有を肯定。	16C の絶対王政に対する反省から、権力の分立による王権の制限がロックやモンテスキューなどによって展開。

◇ 古典的自由主義の問題点

古典的自由主義の担い手は、新興中産階級であるブルジョアジー（市民）であり、社会主義や民主主義からは、ブルジョアジーの資本蓄積の「正当化」の理論と批判された。

■3.3.3 民主主義【B】

民主主義は古代ギリシャのアテナイのポリスで行われた直接民主制を起源とする。デモクラシーという語もギリシャ語のデモクラティア（民衆の支配）に由来する。

	古代のデモクラシー	現代デモクラシー
社会	共通の信仰などが存在する 自然的な共同社会 (規模が狭い)	大規模で利害の対立が顕在化 した社会 (規模が大きい)
起源	古代ギリシャのポリス	市民革命の急進派
体制	⑬ _____ 民主制	⑭ _____ 民主制

(・3・) <一般には、「偏った考え」や「硬直的な思想」を指す否定的な意味で用いられることが多いが、より中立的には「ある価値に基づいて一貫している複雑な思想・意識の体系を、誰にでもわかるように、単純な言葉・イメージ・シンボルなどによって表現したもの」と定義。

(・3・) <教養対策としては、マグナ・カルタ、権利章典、フランス人権宣言などを確認。本講義ではスルーするよ。

(・3・) <古来より「私有財産」には否定的な見解が多かった。古代ギリシャではプラトンが私有財産の否定、アリストテレスは私有財産を認めたものの、高利貸などは批判した。社会学のウェーバーの説明も参照。

(・3・) <せいぜい数十万規模の古代ギリシャのポリスと、現代国家では規模違いすぎ。つまり、政治の前提が全く異なるよな。

■3.3.4 自由主義と民主主義の「調和」【C】

コア

本来は自由主義（エリートが支持）と民主主義（庶民が支持）は敵同士。

◇ 自由主義と民主主義の対立

図表 1：19 世紀前半までの対立状況

自由主義		民主主義
「権力からの自由」	基本理念	「権力への自由」
中流以上の市民 [ジロンド派（穏健）]	支持者 [フランス革命]	下層市民・無産市民 [ジャコバン派（急進）]
立憲主義と議会制を重視するものの、財産と教養ある市民に選挙権を限定	特徴	革命の成果を、農民・都市下層民などにも及ぼそうとする運動で、社会主義と親和性が高い
大衆の政治参加は、「多数の専制」をもたらす可能性がある	対立点	自由主義は、ブルジョアジーの利益に役立つのみ

(・3・)＜「庶民に参政権は不要」との発想は、現代でいうと、「(アホな)中学生に政治は無理」ぐらいの考え。この当時のフランスだと識字率 30% ぐらい。文字も読めない者に政治なんて…という発想自体は是非はともかく分かるよな。

◇ 自由主義と民主主義の「調和」

当初は相容れないとされた自由主義と民主主義は、思想的にはトクヴィルなどによって両立することが示された (第 6 回)。また、政治制度的には議会制民主主義の確立によって実現した (第 2 回)。

◇ 主要国における普通選挙の導入時期

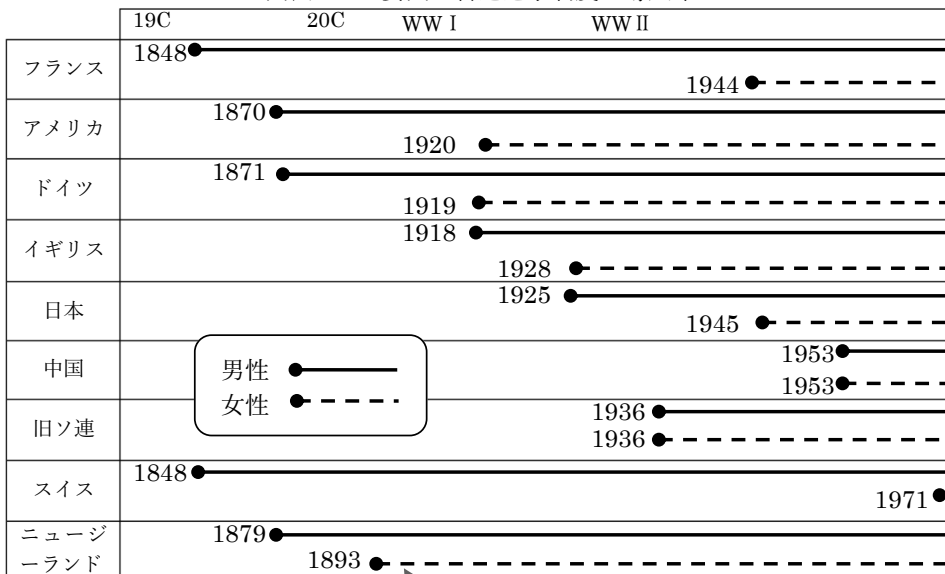
①男子普通選挙は概ね 19 世紀半ば以降

②女子普通選挙は概ね 第一次世界大戦以降

(・3・)＜1848 年のフランス二月革命を契機にヨーロッパ諸国でナショナリズムが高揚。ナショナリズム＝国民はみんな「仲間」。仲間には平等に権利を、となるわけ。

(・3・)＜戦争で国家総動員体制。労働力足りないのだから女性を活用。「男並みに働いているのだから、権利よこさんかい」となる。(・4・)＜なるほど少子高齢化で労働力が不足。だから女性活躍推進！も同じロジックだね(皮肉)。

図表 2：主要国の普通選挙制度の導入年



(・4・)＜平等大好き社会主義。男女同時に参政権。一緒に兵士として戦ってるしね。

(・3・)＜一応、女性参政権のトップは NZ なんだが、例外なんでとりあえずスルーでおk。

☆過去問（国Ⅱ-14）×

近代社会において国民を政治的に統合する主要な方法は選挙であり、選挙権は近代社会の政治的發展に伴い拡大した。19 世紀後半から 20 世紀にかけて、多くの国で普通選挙制が採られるようになり、我が国においても、大正 14（1925）年に成年男女普通選挙制が確立された。

(・Ⅴ・)<基本の出題はこれ。中学生でも出来る（煽り）。

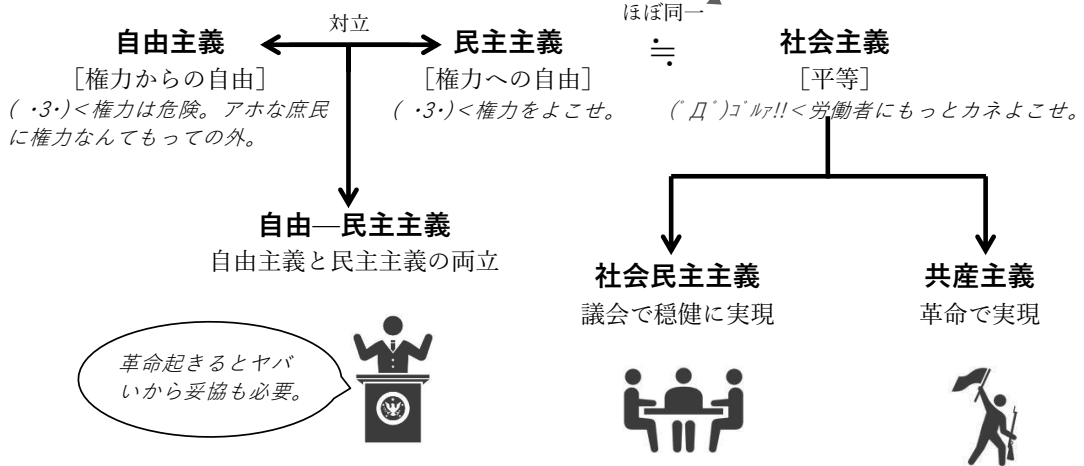
(・3・)<女は第一次大戦後！「戦後強くなったのは靴下と女性」という皮肉。

☆過去問（国Ⅱ-15）×

多くのヨーロッパ諸国においては、18 世紀には、財産や納税額が一定以上の成年男子に対してのみ選挙権を与える間接選挙制が採られていたが、19 世紀前半には、女性も含めた普通選挙制が実現した。

補説：自由主義と民主主義のまとめ

(・3・)<庶民に「…をよこせ」という点で同じだろ？



PowerUp①民主主義とは？

民主主義の本質とは、「人民に権力を！」ということである。日本でも BGM としてよく用いられているジョン・レノン「Power to the People」（人々に力を）は、その精神をまさに体現している。☞YouTube, John Lennon Power to the People



(・3・)<あれ、革命の歌だからな。

(・3・)<超マニア向け。だから、昔の共産主義者やそのシンパの人々はある種の軍事オタクであることが多い。宮崎駿の描く戦闘機や安彦良和のガンダムがカッコいい理由の 1 つ。軍オタ=右翼ではないぞ。

PowerUp②共産主義とは？

共産主義が日本でも弾圧されてきたのは、元来共産主義が自らの理想の実現には武力行使も辞さないとの考え方を持っていたからである。一般的には社民も共産も同じように見えるかもしれないが、理想の実現方法が大きく異なる。このため元々仲はよくない。今日でも共産党が公安当局の監視下にあるのはこれが理由である。



☞警察庁 HP

社民君(@°▽°@)/<ば、暴力はいけないよ！議会の話し合いで解決さ。

共産君(・Ⅲ・)ゴ'ル!!<眠たいこと言っているから解決しないんだ、ボケ。革命上等。

(・3・)<このように社会民主主義と共産党は戦略が違うから想像以上に仲が悪いわけである。

■3.3.5 「右」・「中道」・「左」とは【C】

◇ 右翼／左翼の語源

フランス革命後の議会で、議長席から見て右側に「穏健派」（漸進的な改革を志向）、左側に「急進派」（徹底した革命を志向）が占めたことに由来する。

◇ かつての日本の対立軸（55年体制下の対立軸）第4回）

ヨーロッパやアメリカの場合、左右を決める基準は、多くの場合、経済政策をめぐるものであるが、日本では防衛や外交、憲法問題などのイデオロギー対立が主軸となっていた。

革新（左）	争点	保守（右）
護憲	憲法改正	改憲
日米安保廃棄	防衛問題	日米安保維持
日の丸・君が代反対	天皇制度	日の丸・君が代賛成
社会党・共産党	党派	自民党

(・3・)＜第二次世界大戦の「反省」の仕方の違いだと考えれば、だいたい合ってる。

◇ 1980年代以降の対立軸

近年の日本での保守—革新イデオロギーは主に、安全保障・外交（防衛力強化、北朝鮮への圧力などに賛成か反対か）、小さな政府か否かの政策次元で構成されている（第4回）。

◇ アメリカの政党対立軸：保守とリベラル

現代アメリカにおいては、**リベラル（リベラリズム）**という言葉は一般に、経済・社会問題への積極的な介入を主張する福祉国家型自由主義の意で用いられる。

リベラル		保守
積極的自由を重視 (自由主義の左派)	自由	消極的自由を重視 (自由主義の右派)
肯定的	政府介入 (経済面)	否定的
⑮	党派	⑯

(・3・)＜国家の援助で、弱者も「自由」を得られる！（庶民向き）。故に、オバマのレガシーは健康保険（オバマケア）などだね。

(・3・)＜国家介入は、個人の権利の侵害だ！（金持ち向き）。故にトランプの目玉政策は金融規制、環境規制の緩和などだね。

☆過去問（国I-17）×

アメリカ合衆国においては、リベラリズムと保守主義の対立を見ることができる。例えば、1960年代において連邦政府が保守主義に基づき行っていた「貧困との戦い」という社会福祉政策に対して、リベラリズムの観点から社会福祉政策が労働者の勤労意欲を失わせただけでなく、政府権力の肥大化と自由の侵害を招いたという批判が行われた。

(・3・)＜上級者向け。昔の自民党は欧米の保守政権と比べると経済的統制の度合いが高く、経済的次元だけみれば、社会民主主義に近い。すなわち、かつての自民党が長期政権を担えたのは経済成長をすすめるながら、その果実を経済発展から取り残された地方や集団に配分して、「平等な成長」を達成しようとする「大きな政府」を志向したから。

(・3・)＜「保守が改憲っておかしくね？」と感じる人は、現行憲法は誰が原案作成したのか思い出せ。「押し付け憲法」という発想

(・3・)＜現代では共和党は減税や規制緩和などの主張が多く、他方の民主党は市場経済への介入や福祉国家確立の主張が多くなる。したがって、基本民主党は積極的な「介入派」。例えば、F.ローズヴェルト政権は世界恐慌を乗り切るためのニューディール政策。ジョンソン政権は「偉大な社会」のスローガンのもと、社会保障を拡充。そして、現代のオバマ大統領は国民皆保険を「実現」、グリーン・ニューディール（再生可能エネルギー拡充による産業・雇用創出など）。

(・3・)＜「保守」ってのは、その国の「伝統」を守るのが基本。ヨーロッパや日本は貴族や王（天皇）といった伝統があるが、歴史の浅いアメリカにおける「伝統」とは建国の出发点である「自由」と「独立」。だから、銃の所有を憲法で認められた権利として譲らないのは概ね保守派の主張。独立には銃を持って戦うことが不可欠だからね。

(・3・)＜リベラル＝自由という直訳だけで考えると勘違いするぞ。

補説：政治系科目の学習法・暗記法

これから学習していく政治系科目（政治学、行政学、社会学など）はとにかくカタカナの固有名詞を覚えることが要求される。最初はあまり問題ないだろうが、一通り勉強が進むと、事項が多すぎて誰が誰やらという状況になりやすい。

そこで、特に暗記が苦手な者に対しては、以下のやり方を推奨したい。一言でいえば、「キャラを立てる」ということである。重要用語や人名をマーカーで引いてひたすら確認するというのはなかなか覚えにくいものだが、肖像写真や個人的なエピソードが加わると定着しやすい。本講義の講義ノートで肖像写真や一見すると些細な裏話や豆知識を載せているのも専らこれが理由である。

このため今後の講義では、時には特定の人物や信条を貶めているように見える時があるかもしれないが、それは歴史上のいかなる人物、文化、思想、信条をも貶めることを意図したものではない。翻訳家としても著名な村上春樹は、「翻訳」にとって一番大事なのは「偏見のある愛情ですね。偏見があればあるほどいい」『翻訳夜話』（文春新書）と述べている。本講義におけるレッテル貼りや軽口はその人物や思想に対する愛情の発露としての「偏り」であることをご理解頂ければ幸いである。

メリアム

ミランダとクレデンダ



← (・∀・)<イケメンだけど、なんか冷たい切れ者って感じだなあ。裏で糸引くフィクサータイプ？プロパガンダの話も頷けるぞ。

ハーバーマス

コミュニケーション的行為



← (・∀・)<人の良さそうなおっちゃんやなー。コミュニケーション（話し合い）が重要って強調するのわかるわー。

ウェーバー

政治学、行政学、社会学など政治系のほとんどの科目の重要な場面で登場。



← (・∀・)<このヒゲ野郎が、どこでも登場しやがって。
(・3・)<というネガティブな記憶も意外と記憶の定着に役立つぞ。

政治学第1回 空欄キーワード

- | | |
|---------|---------|
| ① 価値 | ⑪ クレデンダ |
| ② 権威的 | ⑫ 直接民主制 |
| ③ 所有 | ⑬ 直接 |
| ④ 相互作用 | ⑭ 間接 |
| ⑤ 価値の剥奪 | ⑮ 民主党 |
| ⑥ 理念型 | ⑯ 共和党 |
| ⑦ 伝統的 | |
| ⑧ カリスマ的 | |
| ⑨ 合法的 | |
| ⑩ ミランダ | |

政治学 ミニテスト 第1回 問題

【問題1】 権力観・国家観に関する次の記述のうち、妥当なものはどれか。

1. 権力の実体説を述べた代表的論者のうち、R. ダールは暴力装置こそが権力の源泉であると述べた。
2. 権力の関係説を述べた代表的論者のうち、K. マルクスは、「Bが普通ならやらないことをAがBにやらせることができたとき、AはBに対して権力を持つ」と述べた。
3. M. ウェーバーのカリスマ的正当性（支配）は、支配者の持つ超自然的資質に依拠しており、古代社会にしか存在しないものとされている。
4. M. ウェーバーの合法的正当性（支配）は、正当な手続きを経て出来上がった法律に依拠しており、官僚制的な権力に親和的であるとされている。
5. 夜警国家とは、国家の機能を治安維持や国防など、最小限なものにとどめようとする国家観であり、20世紀的国家とも呼ばれる。

【問題2】 国家に関する次の記述のうち、妥当なものはどれか。

1. 「夜警国家」とは、国家の機能を外敵の侵入の防止や治安の維持などといった最小限のものにとどめようとする国家観であり、近代市民社会の原理と対極をなすものである。
2. 「夜警国家」においては、国家は市民社会の安全と秩序を守るための必要最小限の機能を果たすものとされ、立法権、司法権よりも行政権が統治構造の中心的役割を持つものと位置づけられていた。
3. 「福祉国家」においては、国民の福祉の実現を図るために、国家が積極的に社会に介入することが求められているが、普通選挙制の実現がこのような国家観を生む要因の一つとなった。
4. 「行政国家」とは、増大する行政需要に対処するために、統治構造上、行政権を立法権、司法権に対して優越した地位に置くべきであるとする行政重視の国家観であり、現代社会においてはみられないものである。
5. 「行政国家」は、国民の直接の統制が及ばない行政権に過度に権力が集中した非民主主義的な国家形態であり、積極的に国民の福祉の実現を目指す「福祉国家」とは全く相容れないものである。

政治学 ミニテスト 第1回 解答・解説

【解答1】 4

【解説1】

1. × R. ダールは権力の関係説（機能的権力観）の代表的論者であるため、その点ですでに誤り。肢の記述の内容を述べた論者は、N. マキャヴェリである。
2. × K. マルクスは権力の実体説（実体的権力観）の代表的論者であるため、その点ですでに誤り。マルクスは、権力の源泉を資本（富）であると考えていた。肢の記述の内容を述べた論者は、R. ダールである。
3. × ウェーバーのカリスマ的正当性（支配）は確かに支配者の超自然的資質に依拠したものであるが、それは古代にしか存在しないというものではなく、たとえば現代においても見られる。
4. ○ ウェーバーの合法的正当性（支配）は、官僚制的権力に親和的であるとされる。
5. × 夜警国家は、時代区分による国家観の分類では、19世紀的国家に該当するとされる。

【解答2】 3

【解説2】

1. × 「近代市民社会」とは、市民革命後に成立した市民（ブルジョアジー）階層を担い手とする社会のことをいう。制限選挙、自由主義などをその特質とする19世紀ヨーロッパの社会である。この社会に適合的な国家観が、市民の自由な経済活動を容認し、国家の干渉を最小限に止めようとする「夜警国家」観である。
2. × 国家が必要最小限の機能を果たす夜警国家においては、国家の担うサービスの範囲は狭く、立法部が政治的統合機能を果たす。19世紀の「立法国家」の時代には、統治構造の中心的役割を担うのは立法部である。
3. ○ 普通選挙によって労働者階級の要求が表出されるようになると、社会保障・教育などの多様なサービスが国家に對して要求されることになる。こうして福祉国家化が進んでゆくと、このことは当然行政部の肥大化を招いた。
4. × まさに現代は行政国家の時代である。行政部が肥大化し大きな権限を握っている状態を「行政国家」という。
5. × 肢3で説明したように、20世紀の福祉国家は同時に行政国家となる。本肢も「行政国家」の説明が誤っている。

問 題 編

第1回	政治学上の概念			税：平20		正答率	70.9%
No. 1	1： /	2： /	3： /	4： /	5： /	頻出度	B

政治学上の概念に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. 権力のとらえ方の一つに、権力を実体概念としてとらえる見方があり、例えば N. マキャヴェッリや K. マルクスの説が分類される。これは、権力の実体は、権力者と服従者の間の相互関係の中で生じるとする考え方である。
2. 「夜警国家」という国家観があるが、F. ラッサールによると、夜警国家とは国防と治安維持を主たる役割とし、そのために必要となる軍勢力・警察力を維持拡大する目的から、行政府が経済を強力に統制して効率的な経済発展を目指す富国強兵政策を採る国家のことをいう。
3. 一定地域における絶対的排他的統治権を示す「国家主権」は、古代より現代に至るまで、国家が当然に保持しているものとする共通理解が確立されていた。そして、この当然に存在するとされた国家主権の源泉をめぐる議論が、国家主権に関する学説を発展させた。
4. 支配の安定のためには支配権力の正当性が必要とされるが、M. ウェーバーによって分類された支配の三類型のうち、「合法的支配」とは、形式的に正しい手続によって明示的に定められた制定規則による支配をいう。ただし、ウェーバーの「合法的支配」は、支配や規則の内容に対する価値判断を行っていないという点で批判がある。
5. 政治エリートの分析に際して、C. W. ミルズは、軍部と巨大軍事産業が相互の利益を追求するために癒着した連合体である「軍産複合体」の存在を指摘し、この連合体の影響力が増大すると、最終的には軍事クーデターにより軍事独裁政権が誕生することになると警告した。

第1回	ウェーバーの支配の三類型			区：平16		正答率	- %
No. 2	1： /	2： /	3： /	4： /	5： /	頻出度	A

マックス・ウェーバーの支配の正当性の3類型に関する記述として、妥当なのはどれか。

1. カリスマ的正当性は、支配者の持つ超自然的資質に対する帰依に服従の基礎を置いており、生産力も社会秩序も停滞的な社会でのみ見られる。
2. 合法的正当性とは、支配が正当な手続を経て出来上がった法律に基づいて行われることから生じる正当性で、永続性を獲得することにより、血統的つながりのある子孫や身内に受け継がれる傾向を強く持っている。
3. 合法的正当性では、実質的正当性が要されるので、法律としての体裁さえ整えば国家は何をしても自由だとする法律万能主義に陥る危険性はない。
4. 伝統的正当性は、伝統や慣習、先例が重んじられる社会で見られ、古代より封建社会に至るまでの農耕社会を背景とする政治権力に一般的な正当性のあり方である。
5. 伝統的正当性とは、支配者の命令が明示的かつ予測可能な一般的ルールに基づくために正当なものとみなされるもので、官僚制的な権力に最もよく適合する。

第1回	権力論					区：平 17	正答率	- %
No. 3	1： /	2： /	3： /	4： /	5： /		頻出度	A

権力論に関する記述として、妥当なのはどれか。

1. ラズウェルは、権力を二人の行為者の関係としてとらえ、明確な関係概念に立って権力論を展開し、権力の源泉、基盤、手段、範囲などで、行為者間の権力関係が変化していくことを量的に分析しようとした。
2. ダールは、権力を行使している者が立脚している基盤を権力基底と呼び、軍隊の集中及び生産手段の所有が権力の基盤であるとした。
3. パーソンズは、政治権力は服従者の利益を収奪することによって成立しているという権力観に立ち、政治権力が収奪したものと服従者が収奪されたものを差し引きすればゼロに落ち着くとする零和概念を唱えた。
4. メリアムは、権力関係を安定させる手段として、理性に働きかけ権力の合理化を図るクレデンダと象徴を巧みに使って感情に働きかけるミランダとがあるとした。
5. ミルズは、権力構造の多元性を唱え、多元的で参加の可能性が高く、権力が批判にさらされやすい政治体系をポリアーキーと呼んだ。

第1回	権力論					都：平 14	正答率	- %
No. 4	1： /	2： /	3： /	4： /	5： /		頻出度	A

メリアムに関する記述として、妥当なのはどれか。

1. 彼は、ミシガン学派に属し、行動論政治学を批判して、政治学の分野においても、自然科学をモデルに法則化と数量化を探究すべきであるとし、政治学の実証理論化をめざした。
2. 彼は、市長選挙の際の有権者の投票行動を社会学的な視点から分析し、投票行動が有権者の宗教、職業や居住地域といった社会的指標と高い相関をもつとした。
3. 彼は、権力実体説の立場にたち、具体的な権力行使の背後には一定不変の権力という実体があり、政治権力を所有する少数の人々が、政治権力を所有しない多数の人々を支配するとした。
4. 彼は、権力のミランダを、物理的強制手段によって政治権力を正当化するものであるとし、その形態として、記念碑、旗などのシンボルや儀式、デモがあげられるとした。
5. 彼は、権力のクレデンダを、被治者の内面や知性や合理性に訴えて権力を正当化するものであるとし、その形態として、神による授権、指導力の承認、多数意思の形成があげられるとした。

第1回	権力論				区：平 19		正答率	65.4%
No. 5	1： /	2： /	3： /	4： /	5： /	頻出度	A	

ラズウェルの権力論に関する記述として、妥当なのはどれか。

1. ラズウェルは、権力は服従者に魅力あるものか、正当なものとみなされるようになって初めて安定的に存続するとし、象徴を巧みに使って情緒に訴えるミランダと信念に訴えて権力の合理化を図るクレデンダという概念を提示した。
2. ラズウェルは、明確に関係概念に立って権力論を展開し、A と B との間で「A が命じなければいけないであろうことをBにさせる程度において、AはBに対して権力を持つ」という形で定義し、権力の比較計量を試みた。
3. ラズウェルは、人間は社会における種々の価値を所有又は追求しているが、ある人間が他の人間の持つ価値に対して、これを剥奪する能力を有するとき、そこに権力関係が成立するとした。
4. ラズウェルは、権力を実体概念とみる立場から、それを人間あるいは人間集団が保有する力としてとらえ、暴力の集中を権力の基盤とみなした。
5. ラズウェルは、権力とは、ある社会関係の中において、抵抗を排除してでも自己の意志を貫徹しうる可能性を意味するとした。

第1回	権力論				区：平 23		正答率	93.8%
No. 6	1： /	2： /	3： /	4： /	5： /	頻出度	A	

ダールの権力論に関する記述として、妥当なのはどれか。

1. ダールは、「権力とはある社会関係の中で抵抗を排してでも自己の意思を貫徹しうる可能性である」と定義するとともに、権力の本質は強制力にあり、強制力を持つ少数者が他者を服従させると主張した。
2. ダールは、アメリカ社会を歴史的に分析した結果、権力の集中化の傾向を見出し、軍部、大企業経営者、政党幹部の三者に権力が集中し、相互に結びつきを強めパワー・エリートを形成していると主張した。
3. ダールは、「さもなければB がしなかったような事柄をBに行わせる場合、その度合いに応じてA はBに対して権力を持つ」と定義し、権力を、それを行使する者と行使される者との間の相互関係においてとらえた。
4. ダールは、権力行使の基盤となるものを権力基底と呼び、20世紀の社会的価値の多元化を背景に、富、知識、技能、尊敬、愛情など多様な能力や資質が権力行使の基盤になることを指摘した。
5. ダールは、政治権力を「目標達成のために社会的資源を動員する能力」と定義し、政治権力が社会全体としてプラスの利益を生んでいるとする権力の非零和概念を提示した。

第1回	権力論					区：平26	正答率	81.7%
No. 7	1：／	2：／	3：／	4：／	5：／	頻出度	A	

権力論に関する記述として、妥当なのはどれか。

1. ラスウェルは、政治権力の正当性がどのように獲得されるかについて、信念に訴えて権力の合理化を図る「クレデンダ」と、象徴を巧みに使って情緒に働きかける「ミランダ」があるとした。
2. メリアムには、「権力と人間」の著作があり、人間は社会における種々の価値を所有若しくは追求しているが、ある人間が他の人間の持つ価値に対して、これを剥奪する能力を有するとき、そこに権力関係が成立するとした。
3. ルークスは、アメリカの権力的地位にある人々の構成とその変化を分析し、第二次世界大戦後、軍幹部、大企業経営者、政治幹部の三者に権力が集中する傾向が進み、「パワー・エリート」を形成しているとした。
4. フーコーには、「監獄の誕生」の著作があり、近代の権力は、実力や暴力のように目に見える形で行使されるよりは、権力作用を受ける者が自分で自分を規律するように仕向けるという形で、自動的に行使されるとした。
5. バクラックは、本来であれば争点化するであろう問題が制度的に隠蔽され、決定から排除された者の真の利害が表出されないどころか、当人に意識されることすらない形で行使される権力に注目し、「三次元的権力観」を提示した。

第1回	権力論					税：平16	正答率	- %
No. 8	1：／	2：／	3：／	4：／	5：／	頻出度	A	

権力に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. C.W. ミルズは、1950年代のアメリカ合衆国の社会を分析し、政府高官・財界幹部・高級軍人から構成されるパワー・エリートに権力が集中する一方で、権力構造の底辺では大衆社会化が進み、政治的無関心が支配的になっているとした。
2. M. ウェーバーは、権力の正当性の根拠を三つの類型に分類し、権力の正当性の根拠は、文明社会の発達に伴って、「カリスマ的正当性」から「伝統的正当性」を経て「合法的正当性」へと三つの段階を経て移行していくと主張した。
3. R. ミヘルスは、権力は、その発展過程において次第に合法的正当性を喪失し、カリスマ的指導者による少数者支配傾向を強めていくという「寡頭制の鉄則」を主張した。
4. C.E. メリアムは、権力関係を安定させるための手段を、人々の知性に訴えて権力を正当化させるミランダと、象徴を用いて権力を正当化させるクレデンダという二つの概念に分類した。
5. 政治権力が特定の少数者に独占されて社会の支配が行われるのは、一般国民の政治参加が許されていなかった前近代社会に特有の現象であり、現代社会にはみられない。

第1回	権力論					国般：平 13		正答率	- %
No. 9	1： /	2： /	3： /	4： /	5： /	頻出度		A	

権力に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. 権力の「実体概念」は、権力を具体的な人間関係の中でどれだけの服従を確保できるかという実効に即してとらえる。したがって、暴力の集中や富の所有を権力の基盤とするという考え方は、権力の実体概念ではない。
2. M. ウェーバーの支配の正当性分類におけるカリスマ的正当性とは、伝統や習慣の重みに源泉を持ったものである。この型の支配はカリスマ的とはいえ、伝統等にその基盤を持つことから、危機的状況下では有効に機能することは難しい。
3. C. E. メリアムは、権力を正当化する手段を類型化し、その一つとして旗、音楽、記念碑などのシンボルを通じて人々の情緒に訴えかけるという類型を提示した。彼はそれを神学用語で「信条、信仰」を意味するクレデンダと呼んだ。
4. H. D. ラスウェルは、ある人間が他の人間の価値を剥奪する能力を有するとき、そこに権力関係が成立するとした。そして、20世紀の社会的価値の多様化を背景に、権力の基礎は多面的に成立することを理論化した。
5. C. W. ミルズの「パワー・エリート」概念は、政界と財界の指導者への権力の集中を説明するものである。彼は、このうち政治指導者については選挙により選出されなければならないことから、究極的には権力は財界指導者に集中していくと主張した。

第1回	権力論					国般：平 15		正答率	- %
No. 10	1： /	2： /	3： /	4： /	5： /	頻出度		C	

権力に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. 権力の実体概念は、権力を人間又は人間集団の保有する何らかの力、例えば、物理的強制力(暴力)、経済的強制力(財力)、心理的強制力(魅力)などととらえるものである。D. イーストンや丸山真男がこのように権力を実体概念でとらえた代表的な人物である。
2. 権力の関係概念は、第二次世界大戦後に西欧で発達した政治学で多く用いられたものであり、ほかからの働きかけがなければBが行わないことを、AがBに行わせることができるとき、AはBに対して権力を持つとしたC. W. ミルズの権力概念などがその典型である。
3. 権力の関係概念は、権力を具体的な状況における人間又は集団の相互関係においてとらえるものである。これは、権力を、具体的な状況や人間関係の中で、どれだけの服従を確保できるかという点に着目してみようとする点で、機能的なとらえ方だともいえる。
4. H. A. サイモンは、権力と権威を分けて考え、権力は、例えば他人からのメッセージを、その内容を自身で検討した後に、進んで受容するときにみられるものであるとした。彼によれば、権威が強制により服従を確保するのに対し、権力は強制がなくとも服従を確保し得るものであるといえる。
5. M. ウェーバーは、支配の正統性の三類型として、神権的正統性、自然権的正統性、人民主権的正統性の三つを挙げるにより、権力者の発した命令が被治者によって無条件に受け入れられるための根拠が何であるかを示した。

第1回	福祉国家			税：平 19			正答率	51.9%
No. 11	1： /	2： /	3： /	4： /	5： /	頻出度	B	

福祉国家に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. G. エスピン=アンデルセンは、福祉国家を社会民主主義モデル、自由主義モデル、保守主義モデルという三類型に整理した。その上で、我が国については家族が福祉の供給を担っているという点に着目し、最も福祉が手厚い社会民主主義モデルに当てはまるとした。
2. G. エスピン=アンデルセンは、福祉国家の性格を分析するために、脱商品化指標と階層化指標という二つの指標をとった。このうち、脱商品化指標とは福祉サービス産業が経済全体に占める割合を示すものであり、これが高いほど福祉が充実していると考えられている。
3. 英国における福祉政策は、国民生活の最低保障は政府の義務であると論じたベヴァリッジ報告に沿って進められ、発展していったが、それにより財政赤字やインフレなどが深刻化したため、1951年に成立したチャーチル政権によって大規模な政策転換が行われた。
4. 我が国では、1973年に高齢者の医療費自己負担の無料化、厚生年金や国民年金の給付額の増加など、社会保障の充実が図られたため、この年は「福祉元年」とも呼ばれる。その後、1982年の老人保健制度の創設、1984年の被用者保険本人に対する1割負担の導入など、見直しが進められた。
5. 福祉政策は国民生活の水準を引き上げ安定をもたらす一方で、経済学、公共選択論などから様々な批判を受ける側面をも有している。その代表的なものとしては、福祉政策がビルト・イン・スタビライザーとして機能し、景気変動の波を大きくするとともに経済発展を阻害するというものが挙げられる。

第1回	福祉国家			国般：平 20			正答率	20.6%
No. 12	1： /	2： /	3： /	4： /	5： /	頻出度	B	

福祉国家及び福祉政策に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. 社会保障政策のうち、国民の遭遇する事故や災害などによる損害の補填及び生活の保障を目的とする公的な強制保険は、社会保険と呼ばれる。この社会保険制度を世界で初めて政策的に導入したのは、ベヴァリッジ報告を受けた第二次世界大戦後の英国であった。
2. 社会保障政策には、社会保険のほかには費用を政府が負担するものとして公的扶助と社会福祉(社会扶助)とがある。公的扶助とは、行政機関によって直接行われる社会保障であり、生活保護や老人医療費の無料化、児童手当の支給などがある。一方、社会福祉とは、行政機関が直接には行わない社会保障であり、慈善団体や民間福祉施設に対する補助金の支出などがある。
3. H. ウィーレンスキーは、経済水準や政治体制の類型などの要素と社会保障支出の対G N P比との関係を分析した。そして、長期的に見れば、その国の政治体制やエリート・イデオロギーの類型といった要素とはほとんど関係なく、その国の経済水準が社会福祉水準を決定する根本的原因となっていると主張した。
4. G. エスピン=アンデルセンは、G N Pの多寡と歴史的に福祉政策の推進に前向きであったか否か(歴史的経路依存性の有無)という二つの指標を使い、国家を四つに類型化した。そして、G N Pの水準が高く、歴史的に福祉政策に積極的であった(歴史的経路依存性がある)英国型の国家において、最も福祉国家化が進むとした。
5. ケインズ主義では、経済水準は需要によって決まるとするセイの法則により、政府による福祉支出は需要拡大効果を生み、経済規模を拡大させるものと評価される。一方の新古典派主義では、市場では自動安定化装置が働いたため福祉支出による需要拡大は不可能であり、福祉政策は経済の安定に寄与しないとする。

第1回	福祉国家					国般：平 29	正答率	41.0%
No. 13	1： /	2： /	3： /	4： /	5： /	頻出度	B	

福祉国家と政治に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. F. ハイエクは、計画主義的思考は歴史の過程において自生的に形成されてきた秩序を強化し、人間の多様性や自由を抑圧から解放するものであると主張した。そして、J.M. ケインズの経済理論に基づく社会保障制度の充実や所得の再分配を支持した。
2. 社会保障を支える仕組みは、その財源に注目すると、大きく公的扶助と社会保険の二つに分けられる。公的扶助は、通常は資力調査を行わずに全ての困窮者に等しく与えられる普遍主義の考え方による仕組みであり、我が国では生活保護、老人福祉、児童手当等の制度が該当する。この公的扶助制度を世界で初めて政策的に導入したのは、ドイツのビスマルクである。
3. G. エスピン＝アンデルセンは、福祉国家を「脱商品化の指標」と「階層化の指標」を用いて、三つに分類した。すなわち、フランス、ドイツ、イタリア等に代表される自由主義型、米国、カナダ、オーストラリア等に代表される保守主義型、スウェーデン、ノルウェー、オランダ等に代表される社会民主主義型の三類型である。
4. 第二次世界大戦後に取りまとめられたベヴァリッジ報告では、保険料の負担を伴う社会保険ではなく、国庫負担により所得保障を行う公的扶助と任意保険の二つを組み合わせることによって、国民の窮乏を克服することなどが提言された。同報告は、ナショナル・ミニマムを保障しようというものであり、福祉国家の先進的なモデルとして高い評価を得た。
5. 我が国においては、戦後、生活保護法が制定され、さらにその後、国民健康保険法の全面改正や国民年金法の制定が行われて、国民皆保険・皆年金が実現した。1973年には老人医療費を無料とする制度が導入されるなど、同年は福祉元年とも呼ばれ、この時期に社会保障制度は大きく拡充された。

正答番号一覧（政治学 第1回）

問題 No.	正答番号
No. 1	4
No. 2	4
No. 3	4
No. 4	5
No. 5	3
No. 6	3
No. 7	4
No. 8	1
No. 9	4
No. 10	3
No. 11	4
No. 12	3
No. 13	5

※実際のV問題集には、正答番号と共に選択肢ごとの詳細な解説を掲載しております。